

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月28日

計画の名称	鷺泊港海岸堤防等老朽化対策緊急事業（防災・安全）							重点配分対象の該当	○			
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	利尻富士町									
計画の目標	本町の港湾海岸保全施設には老朽化等により機能が確保されていない箇所があることから、本計画により機能保全計画書を作成することで今後の老朽化対策事業に対する検討資料とするとともに、海岸保全施設の防護機能を可能な限り長期間維持できるよう、効率的かつ効果的な維持管理を行うことを目標とする。											
計画の成果目標（定量的指標）	一次点検の実施 機能保全計画書の策定											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
						当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)				
	鷺泊港海岸における長寿命化計画策定が必要な施設に占める策定済み施設数により算出 (策定施設数) = (策定済み施設数) / (全体施設数 2施設) (%)					0施設	2施設	2施設				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5百万円	A	5百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	-

交付対象事業																		
A2 海岸事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H29	H30	H31	H32	H33				
A2-1	海岸	北海道	利尻富士町	直接	利尻富士町	老朽化	鷺泊港海岸老朽化対策事業	長寿命化計画策定2施設（鷺泊地区・鬼脇地区）	利尻富士町						5.0	-	策定済	
										小計（都市防災・公園事業）								
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H29	H30	H31	H32	H33				
										小計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H29	H30	H31	H32	H33			
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月28日

計画の名称	鷺泊港海岸堤防等老朽化対策緊急事業（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	利尻富士町		
計画の目標	本町の港湾海岸保全施設には老朽化等により機能が確保されていない箇所があることから、本計画により機能保全計画書を作成することで今後の老朽化対策事業に対する検討資料とするとともに、海岸保全施設の防護機能を可能な限り長期間維持できるよう、効率的かつ効果的な維持管理を行うことを目標とする。				

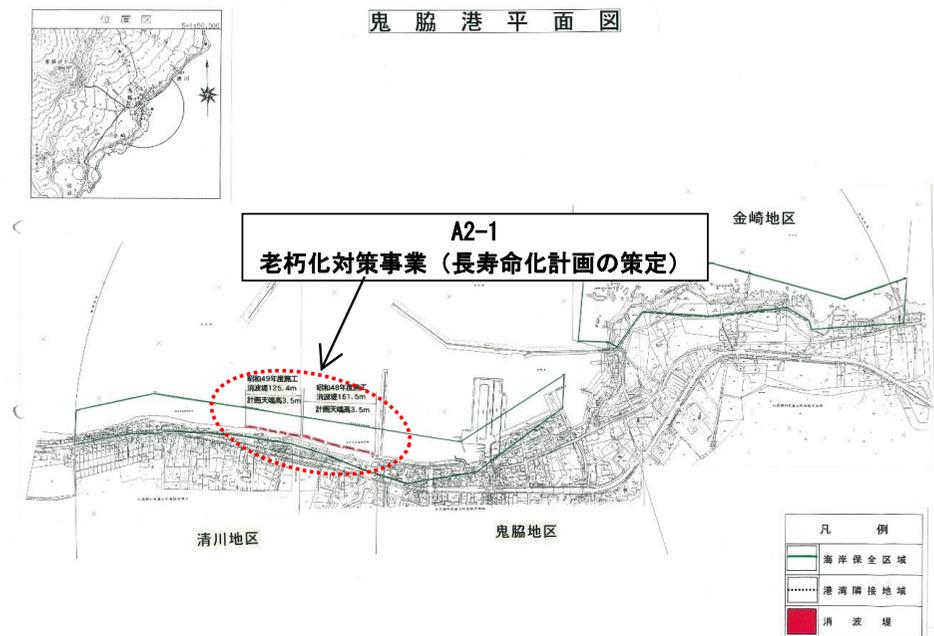
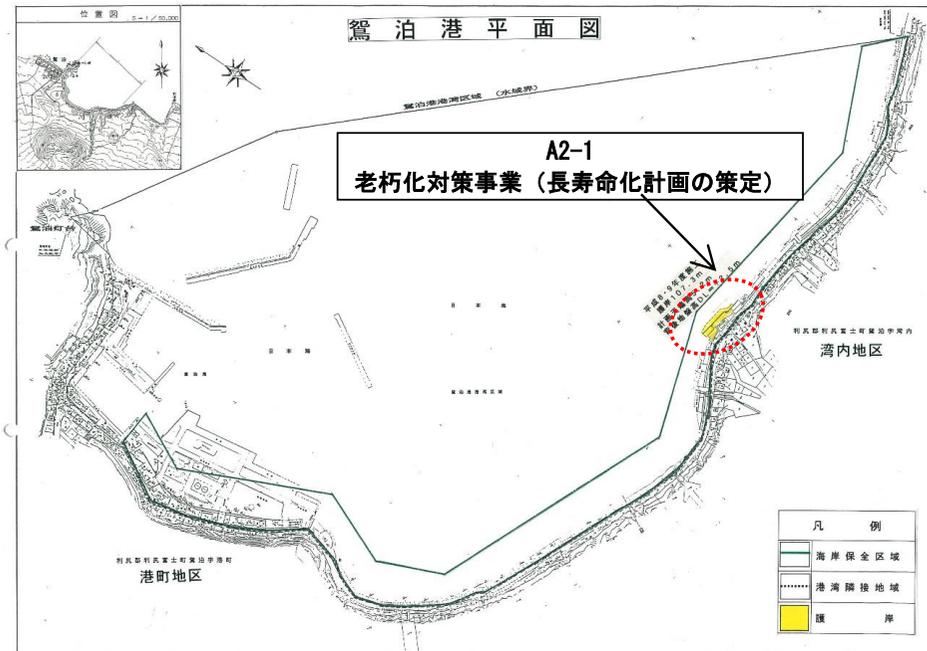
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	鴛泊港海岸堤防等老朽化対策緊急事業（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	利尻富士町



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 鷺泊港海岸堤防等老朽化対策緊急事業(防災・安全)

都道府県名: 利尻富士町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	✓
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	✓
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	✓
②定量的指標の明瞭性	✓
③目標と事業内容の整合性	✓
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	✓
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	✓
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	✓